



〒 327-0817 佐野市伊勢山町 1534 Tel 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>

## 令和2年度 学校評価結果から

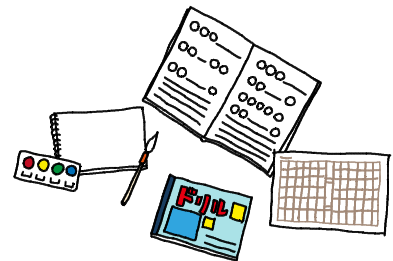
1年間で最も寒い時期を迎え、新型コロナウイルス感染症の拡大なども心配されるところです。各ご家庭においても予防に努めていただいていることと思います。学校でも、手洗い、手指の消毒、3密の防止、こまめな消毒等の手立てを継続してまいりますので、引き続きお子さんの健康管理には十分にご留意いただきますようお願いいたします。

さて、このたび本年度の学校評価(教職員アンケート、保護者アンケート、児童アンケート)の結果がまとまりました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。詳細につきましては、集計結果等とともに後日配布いたしますが、主な概要を以下に掲載いたします。今後とも子どもたちの健全育成のため共に手を携えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### 学習面

学校においては、日頃の児童の学習への取組の様子や学力テスト等の分析を行い、児童の学習状況を把握し「分かる授業・考える授業」の実践に努力しています。また、県より年4回の「学力向上指導員派遣」の指定を受け、子どもたちの確かな学力向上を目指し、互いに学び合い、高め合いながら意欲的に学習に取り組むことができるよう授業改善に向け次の4つの点に重点を置いて取り組んでいるところです。

- 学習のきまりを確実に身に付けられるようにすること
- 授業の目標(めあて・ねらい)を子どもたちに示すこと
- 授業を振り返る活動を行うこと
- どの子にも自分の考えを書く習慣を付けさせること



しかし、アンケートの結果によると、個に応じた指導や家庭学習、読書習慣等の実践についてはまだ十分とは言えず、教職員、保護者、児童の三者で達成状況の認識に差があるようでした。特に、家庭学習、読書習慣については、保護者の方も子どもたちもまだまだ身に付いていないと回答していました。校内読書量の

目標はもう少しで達成できそうですが個人差もあるようです。

さらには子どもたちは、授業中、担任や友達の発表はよく「聴く」ように努力し授業もだいたい分かると感じていますが、じっくり考えたり、進んで自分の考えを発表したりすることには消極的であるとの結果が見られました。また、事前に学習準備をしておくことに課題が見られました。

今後、学習面での課題を明確にし取り組んでいきたいと思えます。引き続き家庭学習や読書の習慣化を含め皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 生活面

人権教育に力を入れ、教職員が研修を積むとともに毎月生活アンケートを実施して児童の思いを把握し、いじめや諸問題の早期発見や早期対応に努めております。毎日の学校生活では児童間のトラブル等があり、保護者の皆様にご心配をお掛けすることもあります。そこで、道徳の時間を通しての児童の心の耕し、教育相談等を行っての児童の心に寄り添う実践、個別や学級ごとの「ストップ・ザ・いじめの行動宣言」の作成、登校時や休み時間等の教職員による巡回及び児童観察への取組など日常の全教育活動を通して全教職員で取り組んでいるところです。ご家庭におきましても子どもたちの人間関係づくりについても話題にして、ご指導いただきますようお願いいたします。

規範意識については、子どもたちはきまりを守ることや場に応じた言動についてまだ不十分であると感じていますが、教職員はよくできていると回答しています。互いに共通理解を図り、実態をきちんと把握した上で指導・支援に当たっていかなくてはならないと感じています。また、困ったことを教職員に相談する児童の割合も高いわけではなく、教職員も子どもたちの話を丁寧に「聴く」ことが一層求められると自省しています。

子どもたちからは、友達と仲良くしているという回答が多かったことをエネルギーとして、そう感じていない子どもも思いを大切にしながら取り組んでいきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 読書ゆうびん

自分が読んだおすすめの本を友達などに紹介する「読書ゆうびん」を行いました。おすすめの本を葉書に書いて友達宛に出すというもので、全児童が必ず友達に葉書を書き、またもらうことで読書への親しみを深めました。



また、今年度の学校全体の読書目標は12000冊でしたが1月14日(木)に見事達成しました。新型コロナウイルスに伴う休校期間もあったので達成は難しいのではないかとも思いましたが、すばらしかったです。今後も幅広いジャンルの読書推進のため「読書おみくじ」なども行っていこうと考えています。